

HEADLINE

脳卒中を防ごう!

大切なのは
血圧コントロール
です。

危険因子
自己顕点度付き

堺市消防局
ペガサス 馬場記念病院 脳卒中センター
センター長 魏 秀復 医師

お薬手帳と一緒に
いつも携帯してください。

こんなサインが出たら
即119番。

- 突然手足が動かない
- 急に言葉がしゃべれない
- 顔のゆがみに気づいた

脳梗塞の疑いがあります。
様子を見ずにすぐ救急車を呼びましょう。



突然、発症する脳卒中。なかでも多いのが、脳の血管が詰まる脳梗塞で、症状の兆しが見えたら「即、119番」が必要です。一般に救急車をタクシー代わりに使うことが問題視されていますが、緊急時はためらうことなく救急車を呼ぶことが重要。そういう意識を地域の方々に持つてほしい、という堺市消防局の相談を受けて、馬場記念病院 脳卒中センターの魏 秀復センター長監修のもと作成したのが、『脳卒中のしおり』です。

このしおりには、二つの目的があります。一つは、脳卒中予防です。脳卒中にかかりやすい危険因子を自己採点できる表を掲載し、予防に必要な心構えを紹介するとともに、脳梗塞の治療法「t.P.A

堺市消防局と協力し、
『脳卒中のしおり』を
作成しました。

療法」についても簡単に解説しています。

外部から講師を招き、
「接遇力向上研修」を
実施しました。

「すべての真ん中にいるのは患者さまです」という理念を掲げるペガサスでは、全職員が一丸となって、患者さまを第一に考える接遇の向上を心がけています。日頃は各部署で指導教育を行っていますが、それとは別に毎年、外部から講師を招き、接遇力向上研修を行っています。

平成23年度は11月24日、ペガサスセンタービルで研修を行いました。講師は、株式会社日本経営人事戦略コンサルティングの石川 恵氏。「第一印象を変える接遇力講座」をテーマに、好感をもたれる表情や話し方聞き方、あいさつの仕方、周囲の変化を察知する「気づき」

Report
*1疾病予防と万の備えに役立つ
『脳卒中のしおり』を
地域の皆さまにお配りしています。Report
*2患者さまの気持ちを第一に、
接遇マナーの向上に
取り組んでいます。

社会医療法人ペガサス 外来診療のご案内

平成24年1月1日現在

	診療時間	診療科	月	火	水	木	金	土	
馬場記念病院	午前診 9:00～ 受付 8:30～12:00	内科 循環器科	1 診	山下 啓 (循環器)	坂本常守 (循環器)	難波雅司 (循環器)	平田明子 (内科)	坂本常守 (循環器)	田口晴之／島田健永 第1・3・5週 / 第2・4週 (ともに循環器)
			2 診	平山道彦 (循環器)	永田光里 (呼吸器)	周藤弥生 (糖尿病)	棚野吉弘 (呼吸器)	玉垣学也／棚野吉弘 第2・4週 / 第1・3・5週 (ともに呼吸器)	
		外科 消化器科	外・消1 診	金原 功	坂下克也	豊川貴弘	金原 功	寺岡 均	福岡達成 第1・3週
			外・消2 診	原 順一	寺岡 均	真下勝行	坂下克也 (胃ろう外来)	平田直人	大平雅一 第2・4・5週
			外・消3 診		河内屋友宏		原 順一		北田拓也 (肝臓病)
		脳神経 外科	脳外科1 診	宇野淳二	伊飼美明	魏 秀復	宇野淳二	魏 秀復	交替制
			脳外科2 診	徳永 聡	馬場武彦	徳永 聡	長岡慎太郎	伊飼美明	
			脳外科3 診	長岡慎太郎	上坂十四夫	松尾吉紘	松尾吉紘	上坂十四夫	
		(脳)神経 内科	(脳)神経内科1 診	青松宏美	北口正孝	峯田春之	北口正孝	金田明子	濱田征宏
			(脳)神経内科2 診	中谷芳美	千本裕子	西本和弘	楠 進 第1・3週	長谷川隆典	
			(脳)神経内科3 診				平賀定一		
		整形外科	整形外科1 診	本田良宣	山北真也	本田良宣	本田良宣	山北真也	交替制
			整形外科2 診	篠塚宗徹	岡垣健太郎	篠塚宗徹	吉野信之	岡垣健太郎	岡田充弘 第1・3週
			整形外科3 診	釜野雅行	岡田 貴		岡田 貴		庄司恭之 第1または、第3週(背椎)
	形成外科		山本喜英	山本喜英			山本喜英	山本喜英／矢野 基 交替制	
	午後診 14:00～ 受付 13:00～15:00 □□□□ は 予約が必要です。 必ず予約のうえ ご来院ください。	内科				坂本常守 (循環器)			
						玉垣芳則／若山公作 第2・4週 / 第1・3・5週 (在宅酸素)			
		(脳)神経内科		北口正孝		北口正孝			
				池尻義隆 第2・4週		南部泰孝 (睡眠時無呼吸外来)			
		整形外科		岡垣健太郎(関節の外来)	釜野雅行 (手の外来)		装具外来 (14:00～14:30)		
				山北真也 装具外来(14:00～14:30)					
泌尿器科			野澤昌弘		清水信貴(予約検査) 吉村一宏(診察のみ)	野澤昌弘			
ヘガサスクリニック	午前診 9:00～12:00 受付8:30～12:00	1 診	永田安德	永田安德	永田安德	永田安德	永田安德	永田安德 第1・3・5週 矢野 基 第2・4週	
		2 診	宇治義正	戸田千綾	宇治義正	宇治義正	宇治義正	田中秀典	
		3 診		担当医					
	夜診 18:00～19:00 受付17:30～19:00	1 診	永田安德	矢野 基	宇治義正	宇治義正	担当医		
		2 診	担当医	担当医	担当医	担当医	永田安德		
ヘガサロヤルリマラ	午前診 9:00～12:00 受付8:30～12:00		中林孝之	長谷川隆典	中林孝之	中林孝之	中林孝之	中林孝之	
	午後診		往診	往診	往診	往診	往診		
馬場満記念クリニック	午前診 9:00～12:00 受付8:30～12:00	1 診(総合外来)	久保俊彰 (漢方外来)	新田敦範	新田敦範	久保俊彰	千本 裕子	交替制	
		2 診(専門外来)	担当医 (脳神経外科)	篠塚宗徹 (整形外科)	担当医 (脳神経外科)	山本 喜英 (形成外科)	北口 正孝 (脳)神経内科)	――	
	夜診 18:00～19:00 受付17:30～19:00		担当医	新田敦範	久保俊彰	新田敦範	担当医	――	

ロイヤルリゾート石津

からのお知らせ

楽しいイベントで迎えたお正月。新しい年の始まりです。

12月31日、高齢者専用賃貸住宅ペガサスロイヤルリゾート石津 エントランスにおいて、「あったかおそばの会」を催し、常食(普通食)のご入居者に、温かい年越しのそばを楽しんでいただきました。また、1月11日にはお正月のイベントとして、食べやすく工夫されたおしるこをご提供し、「鏡開き」を行いました。今後もロイヤルリゾート石津では、このような季節の行事をいろいろ企画していきます。



お問い合わせ・お申し込み

お客様相談室 フリーダイヤル 0120-565-878

入居対象 自立～要介護5までの方、年齢不問

※生活保護受給世帯・市町村民税非課税世帯の入居も可能です。ご相談ください。

ご存じですか!

ペガサス脳卒中センター ペガサス消化器センター

馬場記念病院では、脳神経外科の医師とコメディカルとのブレインチームによる「脳卒中センター」、また、外科と消化器科とのチームによる「消化器センター」を設置し、高度な専門治療の提供を行っています。

1月のペガサスセミナーは、

「その食事、
本当にカロリーカットできてますか？」

講師：松原純子 馬場記念病院 栄養部

日時：1月26日(木) 午後2時～3時

場所：馬場記念病院 1階 ロビー

1月の介護支援セミナーは、

誰でも実践!! リハビリのコツ!! ③

講師：堤 真子 リハビリテーション部

日時：1月25日(水) 午後3時～

場所：介護療養型老人保健施設ペルセウス 3階食堂

法人本部からお伝えしたいことがあります。

ペガサス医療体験デイ 就活バージョン 平成24年度の日程決定!

毎回好評の看護学生対象のペガサス医療体験デイ 就活バージョン。ペガサスの教育プログラムや、病棟施設・看護師寮の各施設見学、各種制度説明などを予定しています。看護師をめざす皆さん、どうぞお気軽にご参加ください!



開催日 5月12日(土)

受付時間 12:30～



※詳しくはペガサスのホームページをご覧ください。http://www.pegasus.or.jp/

情報誌「つばさ」が特別賞を受賞しました

ペガサスグループの情報誌「つばさ」が、NPO法人HIS研究センター開催の第11回ヘルスケア情報誌コンクール(BHI賞)の広報誌部門で特別賞を受賞しました。BHI賞とは、医療機関の広報誌等を対象にしたコンクールで、「つばさ」の受賞はペガサスの広報活動に対する積極的な姿勢と、情報誌としての質の高さが評価されたものといえます。この受賞を励みに、さらに地域の皆さまに役立つ情報を提供し、地域に開かれた病院として支持されるよう努めていきます。



米国の最新医療を学び、日本の今後を考えます

1月21日、マイドーム大阪にて社会医療研究所主催「米国における3機能病院の変遷と日本の病院」をテーマとした、日米ジョイントフォーラムを開催。詳細は、社会医療法人ペガサス(電話：072-263-0630)までお問い合わせください。

馬場記念病院からのお知らせ

● 研修医2名が海外研修を受けました ●

臨床研修指定病院である馬場記念病院は、初期研修医2年次に2週間の海外研修を取り入れています。今年度はアメリカのオハイオ州クリーブランドにて、米国の医療システムの最前線について学んできました。研修で実際に見て体験したことを今後に活かし、新しい時代にふさわしい医師として成長することを期待しています。

S p e c i a l

馬場記念病院 最前線

シリーズ
20

検査部(生理機能検査)

経験豊富な臨床検査技師が
質の高い検査を行い、病気の
診断・治療・予防を支えています。

直接、患者さまの体に
触れて行うのが
生理機能検査です。

生理機能検査室は、直接患者さまの身体に触れ、各臓器の構造や機能を調べる検査を担っています。たとえば、心電図検査、超音波検査、脳波検査、呼吸機能検査など、検査項目は多岐にわたり、それぞれに高い専門性が要求されます。そのため検査に携わる12名の臨床検査技師は、それぞれの分野に専門特化した知識と経験を蓄積。各診療科の医師やコメディカルスタッフと連携し、多



様な検査依頼に確実に対応しています。また、生理機能検査室では、人間ドックや特定健診、企業健診などさまざまな健診業務も行っています。

正確で詳細な情報を速やかに提供しています。

生理機能検査の代表的なものに、超音波検査があります。これは、超音波を使って臓器の状態や機能を調べるもので、リアルタイムに多方向から画像を観察でき、さまざまな情報が得られるという特長があります。その強みを最大限に発揮できるように、検査に携わる技師は、事前に患者さまの疾患情報を十分に把握した上で検査に臨み、異常所見プラスαの情報を医師に提供するよう力を注いでいます。検査のポイントには正確さと迅速さ。しっかりとった所見を速やかに届けることで、幅広い診療科から厚い信頼を得ています。



写真左から、前川義隆、魚野弘子、山崎功次

また、生理機能検査では実際に患者さまと接する機会が多いため、円滑なコミュニケーションも重要な課題です。リラックスして検査を受けていただけるよう心を配るとともに、患者さまが診察時に言いそびれた情報などがあれば、きちんとお聞きして医師に伝えるよう心がけています。

予定外の緊急検査にも柔軟に対応しています。

患者さまの増加にともない、生体機能検査の件数も年々増加傾向にあります。とくに超音波検査の件数は伸びが著しく、平成19年度は年間6104件だったのが、20年度は6873件、21年度は7255件、平成22年度は8196件となっており、この4年間で134%の増加になっています。この実績のベースにあるのが、緊急検査への速やかな対応です。当検査室では救急病院の

使命として、日中は救急患者さまの検査にも100%対応するフレキシブルな体制を整えています。また、「何度も来院せず、複数の検査をまとめて受けたい」という患者さまのご要望に応え、できる限り日程をきめ細かく調整しています。

つねに最新の検査知識・技術を習得しています。

検査技術は日進月歩で進歩しており、次々と先進の機器が開発され、その精密度も向上しています。そのため当検査室ではつねに最新知識の習得に努め、検査技術の向上に励んでいます。たとえば最近では、脳神経外科手術でMEP等の術中モニタリングに使用する装置が導入され、手術中、技師がさまざまな神経の働きをモニターで監視しています。また、心臓カテーテル検査やアブレーション治療にも携わり、高度なチーム医療の一端を担っています。当検査室では今後も学会や研修会などでの研鑽を重ね、各種学会認定資格取得者を増やすなど、技術のレベルアップに努めていきます。

馬場記念病院
検査部(生理機能検査)
技師長 魚野弘子
主任 前川義隆・山崎功次

生理機能検査の主な内容

- 心電図検査** 狭心症や不整脈の有無について調べます。安静時心電図、運動負荷、ホルター心電図など。
- 超音波検査(エコー検査)** 超音波を使って、腹部、体表(甲状腺や乳腺)、心臓、血管の状態や機能を調べます。
- 脳波検査** てんかんや意識障害の診断に用いられます。
- 呼吸機能検査** 肺活量や肺の主な機能である血液のガス交換の機能を調べます。
- MRI検査(磁気共鳴画像検査)** X線を使用せず、強い磁石と電波を使い、体内の状態を観察します。診療放射線技師とともにを行っています。

- 神経生理検査** 神経や筋肉の機能評価を行います。神経伝達速度(NCV)、誘発筋電図検査(SEP)、聴性脳幹反応(ABR)など。
- 無散瞳眼底検査** 目の奥の毛細血管の写真を撮ります。
- PSG検査(終夜睡眠ポリグラフ検査)** 睡眠中のさまざまな生体反応を記録し、睡眠時無呼吸症候群などの診断に用いられます。
- 心臓カテーテル検査・アブレーション治療** 血管からカテーテルを入れて心臓の異常を調べたり、不整脈に対する治療を行います。医師をはじめ、多様なスタッフと協力して行います。